

平成 26 年 4 月 17 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 執行役員 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

ゼボラリゾートの紹介記事がコスモポリタン (イギリス) に掲載されました

当社グループが保有する高級リゾートであるゼボラリゾートの紹介記事が、コスモポリタン (イギリス) に掲載されましたのでご紹介いたします。

ゼボラリゾートタイ・ピピ島で最大のプライベートビーチを保有し、スモールラグジュアリーリゾートとして高く評価を受けてまいりましたが、穴場ビーチの個性派ヴィラリゾートとして日本国内でも高い評価を受けています。

記

以下、コスモポリタン (イギリス) の翻訳の抜粋です。

COSMOPOLITAN がピピ島でエコ・フレンドリー

2014 年 3 月 18 日 Cosmopolitan より

東へ向かった Karen Edwards は、贅沢さと変わらなさを併せもつ、タイの美しいゼボラリゾートを見つけ出した。

どこにあるの？

レオナルド・ディカプリオが白く柔らかい砂に身を横たえていた、映画 **The Beach** の美しい島を覚えているだろうか？ Alex Garland の小説を原作にしたこの映画は、レオナルドが表現したタイのパラダイスのイメージによって、この 16 年間数多くの観光者を引き寄せた。この映画は、ピピ・レ島とピピ・ドン島で撮影された。現在、ピピ島はタイの最も驚くほど人気のある観光地となった。

ほとんどの人たちが、特にパーティーしたがっているバックパッカーは島の南を向かうが、我々はレオが見つけたのと同じ素朴な美しさを求めて移動し、北の端で、原点に立ち戻った真の魅力を持つ、ゼボラリゾートを発見した。

何があるの？

太陽の下でかすかに光る、床から天井までガラス張りのバンガロー、自然の大理石で造られた浴室やリモコンで開閉可能な竹製シャッターなど、このエコ・リゾートは度を過ぎない贅沢さを提供している。いくつかのコテージには屋外デッキに浴室がついていて、星空の下でシャワーを浴びることが出来る。ここは、快適でありながら限りなく自然に近づく場所である。これも、ジェネラルマネージャであるフローリアン・ハレルマン氏の努力のおかげだ。

彼らは現地で貯水システムまで作って、水の使用量を監視し、削減する努力をしている。直近では船がドックに入る際に珊瑚の破損を防ぐため、アンカーブイを導入した。ゴミはリサイクルするために本土まで船で運び (結構な費用がかかるが)、海岸の掃除を日課としている。毎週金曜日には、キッチンスタッフが作り立ての食事を現地学校に持っていき—我々も荷物運びや子供たちへの配膳を手伝うこともできる。

なぜ？

島の反対側では—どんちゃん騒ぎをする人たちが、旅館や飲み放題のクラブにあふれており、ピピ島の美しい環境を

守ろうとする動きが極めて少ない。今でも紛れもない下水の匂いがトンサイ（観光客の街）中に広がり、空のビール瓶が道に散乱している。これでは、今しばらくは観光者に楽しみを提供できても、数年後にはこの独特な美しさはほとんどなくなってしまうだろう。だからこそゼボラの取り組みはとて貴重なのである。ピピ島にいる皆さんもぜひ見習っていただきたいものである。

おすすめ情報

ずっとダイビングを習いたかったけど、なかなか実現できない？なら、ここゼボラで国際プロダイバーについて習おう。彼らは信頼でき、また経験豊かで、そのエリアを熟知している。それに加え、最初はまずプールで練習を始めるから安心だ。4-5日コースでPADIのダイビングライセンスが取得できる。

シュノーケルが好きな人には、レオが日に焼けた体を横たえた砂浜があるマヤ・ベイや、ツマグロ（無害なので、心配いらない）やウミガメと泳いだり、この周辺で有名な幽霊のようなヨウジウオをみることができる、人影まばらなサンゴ礁など、見逃せないポイントがある。

当誌のおすすめ

究極のくつろぎの午後を過ごすなら、ゼボラスパのアロマセラピーマッサージを予約すべき。各ボディトリートメントの終わりには、最高にきもちいいヘッドマッサージの後、髪をとてもキュートでガーリィに編み上げてくれる。スパは庭園を見下ろす丘にあり、待ち時間には息をのむような森や海の眺めを楽しめる。

お見逃しなく！

ぜひ、ビーチサイドにあるタカダレストランで夕食を楽しんで。そこでは、美味しいタイの伝統カレーや麺類から洋食まで幅広く取り揃えている。我々はトードマンクン（エビのさつま揚げ）やエビとチキンのパイナップルチャーハンをいっぱい食べた。その後は、新鮮なココナッツジュースやクラシカルなカクテルでしめよう。

ぜひ！

私は非常に乗り心地いいカタール航空で往復のエコノミー便（£535）でバンコクへ行った。そこからは、エアアジアがプーケット国際空港までの国内便を£25で提供している。ゼボラはプーケットからスピードボートによる送迎を毎日行っている。

ゼボラリゾートの宿泊料金は二人分の朝食付きで一泊£140から。5月1日から10月31日までの間、スパトリートメントは25%割引になるので、お見逃しなく！

以上

原文は、以下のURLから参照できます。

http://www.cosmopolitan.co.uk/travel/luxury-breaks/eco_revolution_on_kho_phi_phi